

日本原子力学会 原子力発電部会

次期軽水炉の技術要件検討 WG フェーズ 2 第 2 回会合

議事録

日時 : 2022 年 6 月 2 日 (木) 13:30～ 15:50

場所 : Webex 会議 (東京大学工学部 8 号館 2 階 226 大会議室)

出席者 : 山口(*)主査(原安協)、山本幹事(名大)、菅原(*)幹事(関電)、有田(*)幹事(MHI)、伊阪(*)委員(関電)、糸井委員(東大)、宇井(*)委員(電中研)、浦田(*)委員(NEL)、黒崎委員(京大)、越塚(*)委員(東大)、斉藤委員(東大)、佐治(*)委員(MHI NS エンジ)、柴本委員(JAEA)、菅原委員(関大)、鈴木(*)委員(東電)、竹田(*)委員(阪大)、成川(*)委員(東大)、東(*)委員(WH)、藤木(*)委員(東芝 ESS)、芳原委員(近大)、松浦(*)委員(日立 GE)、三牧(*)委員(MHI)、三好委員(原電)、村上(*)委員(東大)、山路委員(早大)

オブザーバー: 皆川、中谷(エネ庁)、川島(大林組)、小林(鹿島)、鈴木(大成)、下間(IHI)、千々松(安藤ハザマ)、中居(日揮)、濱谷(MELCO)、田口(*)、竹地、岩田(関電)、水田、高山、倉本(*) (MHI)

(*)・・・東大会議室参加者 (敬称略)

配布資料:

- 資料 2-1 : 次期炉 WG(フェーズ 2)第 1 回会合 議事録(詳細版+公開版)
- 資料 2-2 : 次期炉 WG(フェーズ 2) コメント処理表
- 資料 2-3 : WG で議論する論点の抽出(資料 1-2 の改訂版)
- 資料 2-4 : 次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論
「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」

議事:

1. 出席者確認及び新 WG 委員の挨拶

WG 委員全員の出席が確認された後、杉山委員に代わって新しく WG 委員になられた柴本委員から自己紹介があった。

2. 第 1 回議事録確認及びコメント対応について

幹事より、資料 2-1 にて前回 WG の議事録が確認された後、資料 2-2 にて前回 WG で頂いたコメントへの対応内容について説明があった。コメント No. 1-1～1-4 に対する対応内容については WG 委員にご了解頂いたが、コメント No. 1-5 について、委員より、『「将来の拡張性に備え余地を残す」とは規制のバックフィットだけでなく、炉出力増強などプラントの運用拡大の議論もあるので、そういう観点でも報告書に記載すること』とのコメントを頂いた。また、資料 2-3 にて、コメントを反映した第 1 回 WG 資料の改訂版を説明し、ご了解を頂いた。

3. 次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」について

資料 2-4 にて、幹事より次期軽水炉の重要コンセプトに関する議論「次期軽水炉の性能目標・深層防護の実装の考え方」について説明があった。WG 委員から多くのコメントを頂いたが、特に、次期軽水炉の設計目標として用いる性能目標の設定の考え方について再整理することとした。

4. その他

委員の都合を確認し、第 3 回 WG の日程は以下の通り設定した。

・ 2022 年 9 月 16 日 (金) 13:00～15:00@東大工学部 3 号館 4 階 423 会議室

以 上